

波紋

1990 6 第60号

「6・6・6記念挨拶」

モーリンマン・ご家族の皆様、いつも大変お世話になっております。また「波紋」をご愛読頂きまして、本当にありがとうございます。

初代 牧野編集長の第一回発行をスタートとし、二代目 橋本編集長を経て現在三代目 伊東へと順調？にバトンタッチされてきました「波紋」も、今回60号をむかえる事になりました。

「60号」「6月号」「6年目」を「6・6・6」という記念すべき時に、編集長をやらせて頂き誠に光栄に思っております。

4月号より「デザインの一新」を試みました。さらに、5月号より編集部に新入社員3名を加え、「まんねり化防止」に力を入れていく目標を決定しました。

また、今回の記念号より、「すり色の一新」を試みました。如何でしょうか。新編集員3名のフレッシュな感性を生かし、さらに波紋の飛躍に力を入れていきます。100号、200号と継続出来るように編集員一同がんばっていきます。

今後とも、末永くご愛読頂きますよう、お願い致します。

伊東 郁二

特別寄稿

いつもお世話になっております。毎月愛読させて頂いており、今回6月の60号にて6年目の記念すべき6・6・6にて投稿できることをありがたいと思っております。

「後れ馳せのWHYとDAY」

田舎のプレスリー

森松株式会社の女性の皆さん、バレンタインプレゼント誠にありがとうございます。

先日、常務と「赤提燈談話」にて、私の後れ後れ後のホワイトデーとして「波紋」に投稿させて頂くことにより、佳人の皆様にお許しを戴き度く思っております。

さて、時代はさかのぼり、ローマは三世紀、中国は春秋(前4世紀)、そうです、異教徒の迫害で2月14日に殉教徒の死を遂げた聖バレンタイン、また「天命を知る」為中原へ放浪の旅に出、魚日都にもつどた日も同日(?)と伝えられて居ります。

この歴史上の人物は哲人であると聞いて居りますが、「哲」とはなんでしょうか。フィロソフィアII「愛す知を」、また天使を知るII「知る自分に与え給うた使命を」それぞれ布教に、放浪にと旅立ったわけですが、この変革の時代を迎え、「ゆとり」はなかなか持てませんが、日常生活において少なくとも「WHY」を考える。心のゆとりを持てば、「哲」に一步近づけることと思えます。

※追伸 私自身エルピスを知り、ピートルズからチェッカーズまでロックンロールに惚れています。

「WHY!」

交差点

「泊研修会今年度2回目が開催され、モーリンマン34名全員の参加であった。8年前に森松マン精神を河和港近くの旅館で夜遅くまでかかり作って以来、3回目の一泊研修会です。参加人数も当時の3倍になり研修会らしい雰囲気で行なわれました。メインイベントの三分間スピーチでは、大笑いしたり、溜息が出るやらで大変複雑な気持ちで聞かせてもらった。発表者の成瀬、伊東両君も準備が十分出来ていた様で、始めは少々上がり気味だったが後半はうまく発表できた。一生懸命になっている姿がメンバーの心に伝わっている感じがしました。社内報を発行して満5年、早いものですね。当初はいつまで続くのか心配してスタートしたのですが60号を出すまでになったのだからもう大丈夫。波紋は会社の成長・健康度のバロメーターになるんでしようね。研修会も担当委員会が出来、木村顧問、稲葉委員長、牧野、田井村、栗脇、加藤の6名で構成され出発です。今後が楽しみなメンバーです。波紋のように順調に育ってくれる事を祈ります。新社屋移転日まで秒読み段階に入りました。モーリンマン全員の一致協力をお願いします。

森 信之



トシ君の一方通行

スーパーマンはご存知クラーケントである。クラーケントが変身してスーパーマンになり、正義の為に戦うのである。勿論、正義のスーパーマンは強くて格好良い訳である。しかし、クラーケントの方が当たり前であるが、より人間的である。ちよつとおつちよこちよいであり、とても気が弱い、スーパーマンは自分を隠す為にあえてそのように演じているのではなくスーパーマンこそが仮の姿ではなからうか。クラーケントの人の良さ、とても優しいとても謙虚なクラーケントが本来の姿であると思う。スーパーマンみたくい人があるけれど、案外疲れている場合が多い。クラーケントに自然に振る舞い、決して目立たないけどコツコツ、いつも明るく、きつちり仕事をしている人は実は心の奥深く、モノ凄いい信念と自身があるのじゃないだろうか。

木村 英利

「フォーシーズンズ」

四文字熟語で「不言実行」という言葉があります。「男は黙って○○○ビール」というCMが流行したことがあります。不言実行がもてはやされるのは、日本人気質でしょうか。「黙ってする」というとエレベーターの中でおならをするみたいですね。現代人には「黙ってする」という事は暗いイ

メージに映ると思います。もし「不言実行」という言葉があるならその方が現代的でカッコイイと私は思います。「私はやります」と宣言する事はとても勇気のいることだと思えます。宣言した以上は実行しなければ、うそつきの狼少年になってしまうのでプレッシャーもかかるとは思います。しかし達成出来た時の満足感と喝采はすごいでしょう。カッコイイですよ。 「不言実行」はどうでしょう。実行出来なかつた場合は狼少年にはなりませんので現代人の感覚ですと「じゃあないか」という事になってしまうのではないのでしょうか。私も含めて意志の弱いと思っている皆さん、「不言実行」で自分にプレッシャーをかけてカッコイイ達成感を味わいましょう。そしてもしかして狼少年である事に馴れてしまった人がいたら、早く狼に食べられてしましましょう。

牧野 光昌

暮らしのエッセイ

わたくし、奥田の偉大なる趣味

ドライブ旅行が好きで娘と二人連休になるとよく出かけるんですけどそれがただの旅行じゃないんです。旅行先できちんとホテルや旅館を予約するつてのが普通なんです。うが、我が家の場合は一味違う。なんだかんだでよく働いてくれる愛車に布団や衣類、挙げ句の果てにガスコンロまで積み込んで出発進行。

ということと今年山陽地方へ行って来ました。「ゴールデンウィーク×高速道路」なんていった簡単な算数の答えは：そうです、渋滞・ジュウタイ・じゅうたい。ところが不思議なことに今回は大した渋滞に合いませんでした。アイム・ア・ラッキー・マン（娘がくどいくらいに聞く、ガービーうるさい歌。私はさっぱり：）とも言います。いつも渋滞に合ったときに活躍してくれるのが先ほどのガスコンロ様。イライラしている連中が取り巻く中で娘にお湯を沸かさせてコーヒーをいっばい。（ざまあ、への河童）

さて、こんなくだらな過ぎる話はこつちに置き、わたくし奥田の偉大なる趣味とは、「通行手形を集めること」です。そう、将棋のこまをでつかくしたアレ。それには土地の名前がかいてある。その下に買った日付を書き入れておく。こいつはちよつとやさつとでは壊れないからいい。格子の一メートル四方の網にぶらさげて壁に吊つてあるがもう百個近くたまつてきて重さで壁が落ちてこないかと心配になってきました。落ちたら大家さんにしかまれるだろうなと思いながらあの日あの時訪ねたところを懐かしく思い出しています。とにかくにも通行手形とは私にとって大切な思い出の品なのです。

奥田 義春



入社式・研修会に出席して

愛知中小企業家同友会主催の合同入社式に参加した時は、社会人になるという不安がつきまじりました。学生とは違い、社会人の行動には責任が伴うからです。私も社会人としての自覚をしっかりと持ち、責任ある行動をとりたいです。中小企業の良い点は、企業全体が自分の視界に入るといふ話を聞きました。大企業の場合、社長と顔を会わすことがそんなに無いと思います。その点、森松の場合、社長と会話する機会も持てるし、他の上司も身近な存在に感じられます。中小企業の方が連帯感があるし、お互いの気持ちも共有し合えるから、中小企業で自分の能力を十分に発揮した方が仕事をする上でも満足できると思います。

他にN T Tのビジネス電話の講習も受けました。ビジネス電話は、その応対が会社の顔になるので、難しいと思いました。

いろいろと新入社員研修会に出席させていただき、勉強になりました。これからの仕事に役立つと思います。この様な研修会に参加出来た機会を与えてくれて有難うございます。

高橋 武夫

21世紀はもうすぐそこです。私達はその新しい時代を担う中心的な存在になって、これからの社会を創りあげてゆくのです。

合同入社式を行い、多勢の人たちが、輝かしい目で、社会人としてのスタートを切りました。その意味で、研修期間というのは、大切だと思えます。それぞれの会社で、必要な知識と教養を身につけてゆきます。

日本は忙しい国です。その日本に生まれた限り、大きな社会という海で、私は小さな小さな魚になって戦ってゆかなければなりません。

今の厳しい社会では、数字がすべてで、営業成績のみによって社員の能力が判定されているところが多いように思える。そこには、個々の人格だとか、人間性といったものの入りこむ余地はまるで存在しない。

“結果こそがすべて”だから。決して日本中のどの会社も同じというわけではないけれど、私としては、自分自身の個性といったものを発揮できずにつぶされてしまうような会社は願ひ下げです。

「誰にも負けない根性と弱音を吐かない不屈の心。自分に厳しい謙虚さをもてば人生敵なし」

という言葉が私は好きです。これを人生の教訓として、つらい時には思い出したい言葉です。

松島 由理

4月2日の入社式は、多数での入社式でした。吹上ホールでの入社式、すばらしい講師のお話も聞けましたし、立食パーティーもありまして、他社の人や社長さんと仲良くなったりしてとても楽しかったです。N T Tでの研修、ビジネス電話応対一日講座に行きました。一人ずつ机に電話が置いてあってみんな練習するので。最後に、本当のトヨタとかの会社にかけての練習でした。あちらの方はすごく上手でした。私も指名されてしまっ、緊張しました。ドキドキして自分が何しゃべっているのかわからなくなってしまうました。ただどの場で指名されても勉強になりました。やっぱり聞いてみるだけでは勉強になりません。実際口に出して言ってみなければ。会社でも2度電話に出ましたが、ドキドキしてうまくしゃべれませんでした。これからどんどん電話をとって勉強したいと思いま

す。

フレッシュマン基礎講座では3人の講師に話を聞きました。その中の1人の女性がとても印象に残る方でした。おもしろくておもしろく耳をかたむけてしまいました。言葉使いなどとても勉強になりました。他社の方たちとグループをつくり「働く」について話し合い、そしてそれを発表しました。お友達に合ったりして楽しい一日でした。お祭りのおかげで声の台本をもらいそれをグループごとに分けてみんなで「わっしょい、わっしょい」と大きな声を出してみたりしておもしろかったです。今もまだ研修中ですが、この研修のことを思い出しがらばっていきたいと思います。

大岩 美花

御結婚
おめでとーございませす



伊東郁二・千草
(旧姓今村)
★おしあわせに★



第二回

【森松一泊研修会】を終えて

五月十二日・十三日に、第二回目の一泊研修会が行なわれました。新入社員の参加で前回よりも人数も増え、研修委員会も発足しました。前回よりもさらに充実したものになりました。話す事の苦手な人に講演をしてもらおうという委員会の方針で選んだ2名の講師ですが予想外に上手で、うれしい当外れでした。また、若手営業部員による「恐怖の業界用語双六」は、緊張あり、笑いあり、冷汗ありで結構、楽しく勉強が出来たのでは、と思っております。そして極付けの二日目の研修ゲーム「警視総監賞は誰の手に」では全員が刑事に成りきって、コミュニケーション、メンバーシップ、リーダーシップ等の重要性を理解してくれたのでは、と思っております。今後とも研修委員会では充実した研修会の企画をしていきたいと思っております。

尚、今回も場所を心良く提供して頂きました新日本法規出版(株)様には、心より御礼申し上げます。

森松研修委員会

委員長 稲葉 友昭

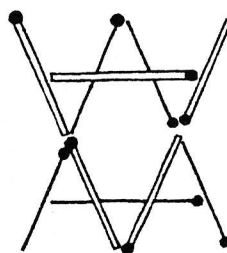


今月の社内行事

2928 日日	27 日	252423 日日日	22 日	1817 日日	14 日	11 9 日日	8 日	7 日	4 日	6月1日
午後五時～八時半まで 丹後公園庭球場 テニス	午後七時より 中堅会議 八時二十分まで	新社屋オープン 製造会議 午後六時より 幹部会 午前七時半より 午後七時より	テニス 午後五時～八時半まで 丹後公園庭球場	幹部会 午前七時半より 八時二十分まで	営業部長会議 午前七時半より 引越準備 出勤日	幹部会 午前七時半より 第二土曜日休み	FMS 午前七時半より	YMS 午前七時半より	幹部会 午前七時半より 八時二十分まで	テニス 午後五時～八時半まで 丹後公園庭球場

クイズコーナー

正解者の方には商品発送をもつて発表にかえさせていただきます。



【答え】

編集後記

紫陽花の花がほのかに色づき始め、カタツムリが姿を現す季節になりました。花びらからこぼれる雨の雫は、まるでかわいいう天使達が飛び跳ねているかのように…。ところどころでこの時季梅雨冷えの日が続きますので風邪などひかないよう健康管理には十分気を付けて下さいね。

さて、いよいよ新社屋も完成まじか。夢が一つ叶おうとしております。これも御得意様、仕入先様の皆様のお陰です。今後共、より一層頑張りますので宜しく御願致します。

亀井 敏代



編集発行者
森松株式会社

発行責任者
伊 東 郁 二
平成2年6月1日
第60号